

No. 2  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
(平成26年度 第3回)

## 事業評価対象事業の一覧表及び位置図

平成26年11月10日

国土交通省 近畿地方整備局

平成26年度第3回 事業評価対象事業の一覧表

(再評価)

No.	事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価 理由	事業概要
1	河川事業	紀の川総合水系環境整備事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 和歌山市の有本川、大門川を対象とした紀の川からの導水による水質改善、沿川市と連携した河川空間の整備を図るもの</li> <li>●事業化年度 : 昭和54年度</li> <li>●全体事業費 : 102億円</li> <li>●事業の進捗 : 約78%</li> <li>●今後の予定 : 平成35年度に事業完了予定</li> </ul>
2	河川事業	大和川総合水系環境整備事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 多種多様な生物の生息・生育、快適な親水活動が可能となるような水質改善、多様な生物の生息・生育、繁殖環境の保全、再生、創出、沿川市と連携した河川空間の整備を図るもの</li> <li>●事業化年度 : 昭和57年度</li> <li>●全体事業費 : 210億円</li> <li>●事業の進捗 : 約96%</li> <li>●今後の予定 : 平成35年度に事業完了予定</li> </ul>
3	河川事業	九頭竜川総合水系環境整備事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 良好な自然環境の再生のため、水際環境の保全・再生、砂礫河原の再生、本川と支川・水路の連続性の再生等により、多様な生物の生息・成育・繁殖環境の再生を目指すもの</li> <li>●事業化年度 : 平成19年度</li> <li>●全体事業費 : 17億円</li> <li>●事業の進捗 : 約52%</li> <li>●今後の予定 : 平成37年度に事業完了予定</li> </ul>
4	公園事業	淀川河川公園	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 淀川河川公園は40地区、238.8haを開園。淀川河口部(大阪府)から桂川、宇治川、木津川が合流する三川合流部(京都府)までの延長約37kmの両岸の河川敷に位置し、広域的な見地から設置された国営公園</li> <li>●事業化年度 : 昭和47年度</li> <li>●全体事業費 : 418億円</li> <li>●事業の進捗 : 約58%</li> <li>●今後の予定 : 背割堤地区では交流活動等を支援する機能を備えた三川合流域拠点施設(仮称)の平成28年度供用に向けて整備を行う。</li> </ul>
5	砂防事業	亀の瀬地区地すべり対策事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 亀の瀬地すべり地内の直接的な被害の防止、河道閉塞による湛水・はん濫被害の防止を目的に、斜面の安定化を確保するための地すべり対策を行う。</li> <li>●事業化年度 : 昭和37年度</li> <li>●全体事業費 : 850億円</li> <li>●事業の進捗 : 約99%</li> <li>●今後の予定 : 地すべり地の管理を行うために必要なモニタリング等を行うとともに、大規模災害等の発生時に対しての調査検討を行う。</li> </ul>
6	港湾事業	神戸港六甲アイランド地区国際海上コンテナターミナル整備事業	(H24)	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の国際競争力を強化することを目的とし、岸壁、航路・泊地等の整備を行う。</li> <li>●事業化年度 : 平成25年度</li> <li>●全体事業費 : 742億円</li> <li>●事業の進捗 : 約30%</li> <li>●今後の予定 : 平成30年度完成に向け事業進捗を図る。</li> </ul>
7	港湾事業	舞鶴港和田地区国際物流ターミナル整備事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 近畿圏北部を発着する貨物の物流効率化を図り、地域の産業競争力を向上、並びに、大規模地震発生時における阪神港等のリダンダンシー機能を確保するため、岸壁、泊地等の整備を行う。</li> <li>●事業化年度 : 平成1年度</li> <li>●全体事業費 : 485億円</li> <li>●事業の進捗 : 約81%</li> <li>●今後の予定 : 平成33年度完成に向け事業進捗を図る。</li> </ul>
8	道路事業	一般国道26号和歌山峠道路	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 地域高規格道路「第二阪和国道」の一部を形成し、国道26号の異常気象時通行規制区間の解消、交通混雑の緩和、交通安全の確保などを目的とした延長7.2kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 平成19年度</li> <li>●全体事業費 : 約463億円</li> <li>●事業の進捗 : 約45%</li> <li>●今後の予定 : 平成27年度の2車線供用を目指す。</li> </ul>
9	道路事業	近畿自動車道紀勢線(田辺～すさみ)	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国土開発幹線自動車道「近畿自動車道紀勢線」の一部を形成し、紀伊半島の各都市と国土軸を結び災害時の交通を確保するほか、輸送時間の短縮や国道42号の混雑緩和を図り、地域相互の振興と発展に資することを目的とした延長38kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 平成10年度</li> <li>●全体事業費 : 約2,177億円</li> <li>●事業の進捗 : 約65%</li> <li>●今後の予定 : 平成27年「わかやま国体」までの供用を目指す。</li> </ul>
10	道路事業	一般国道480号鍋谷峠道路	H25	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国道480号の大阪府と和歌山県境における土砂崩落等による通行止めの回避、災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等、峠部の線形不良区間の解消等を目的とした延長4.1kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 平成20年度</li> <li>●全体事業費 : 約192億円</li> <li>●事業の進捗 : 約38%</li> <li>●今後の予定 : 平成27年度の供用を目指す。</li> </ul>
11	道路事業	一般国道2号相生有年道路	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国道2号の相生市、赤穂市内の交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善を目的とした延長8.6kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 昭和60年度</li> <li>●全体事業費 : 324億円</li> <li>●事業の進捗 : 約46%</li> <li>●今後の予定 : 平成27年度に14-1工区 延長1.8kmの供用を目指す。</li> </ul>
12	道路事業	一般国道8号塩津バイパス	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国道8号の長浜市西浅井町から木之本町間の幅員狭小・急カーブ区間及び異常気象時の交通規制区間の解消等を目的とした延長3.5kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 昭和59年度</li> <li>●全体事業費 : 約123億円</li> <li>●事業の進捗 : 約82%</li> <li>●今後の予定 : 平成26年度に1工区バイパス区間 延長0.9kmの供用を目指す。</li> </ul>
13	道路事業	一般国道42号冷水拡幅	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国道42号海南市域の交通混雑の緩和、交通事故の減少を図るとともに、有田及び海南生活圏の連携強化、地域の活性化を目的とした延長1.1kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 平成19年度</li> <li>●全体事業費 : 約49億円</li> <li>●事業の進捗 : 約24%</li> <li>●今後の予定 : 早期の供用を目指す。</li> </ul>
14	道路事業	一般国道42号有田海南道路	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国道42号有田市から海南市の交通混雑の緩和、交通安全を確保するとともに、東海・東南海・南海地震同時発生時の津波浸水区間を回避し、自然災害時の緊急輸送路の確保等を目的とした延長9.4kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 平成20年度</li> <li>●全体事業費 : 約359億円</li> <li>●事業の進捗 : 約3%</li> <li>●今後の予定 : 早期の供用を目指す。</li> </ul>
15	道路事業	一般国道42号田辺西バイパス	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 近畿自動車道紀勢線南紀田辺ICへのアクセス道路としての役割を担うとともに国道42号の交通混雑の緩和を目的とした延長3.8kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 平成9年度</li> <li>●全体事業費 : 約280億円</li> <li>●事業の進捗 : 約79%</li> <li>●今後の予定 : 早期の供用を目指す。</li> </ul>

[再評価理由]

- ①: 事業採択後3年間で経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間で経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間で経過している事業
- ④: 再評価実施後3年間で経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

# 事業評価対象事業の位置図

